

## 第1回日本銀行石神井運動場の公園整備にかかる基本計画検討委員会 議事録

日 時 平成21年11月2日(月) 15:00～17:00

場 所 日本銀行石神井運動場 クラブハウス

出席者 品田穰、松下正巳、藤井英二郎、前田勇、富岡光男、石山通徳、大村宣雄  
杉浦邦彦、石川正子、西條義洸、斎藤義彦(菊池正芳の代理)、乾嘉行

(傍聴者)9名

(事務局)練馬区環境まちづくり事業本部土木部公園緑地課長 他2名

(練馬区関係各課)総務部施設管理課長、総務部文化国際課長、生涯学習部生涯学習課長  
生涯学習部スポーツ振興課長  
各課担当職員

(委託事業者)株式会社L A U公共施設研究所 2名

### 配布資料

資料 1 日本銀行石神井運動場の公園整備にかかる基本計画検討委員会 委員名簿

資料 2 委員会の運営についての基本的考え方(案)

資料 3 日本銀行石神井運動場の公園整備にかかる基本計画検討委員会の設置について

資料 4 日本銀行石神井運動場の整備の方向性について

資料 5 事業の概要及び現況等について

## 1.開会

- ・記録をとることを了承

## 2.部長挨拶：

- ・練馬区環境まちづくり事業本部土木部長の挨拶

## 3.委員委嘱

### 区の職員紹介

- 総務部文化国際課長、総務部施設管理課長、生涯学習部生涯学習課長、生涯学習部スポーツ振興課長
- 産業地域振興部商工観光課長、欠席
- ・事務局の紹介
  - 土木部公園緑地課長、係長、担当者
- ・委託事業者の紹介
- ・日本銀行担当者同席

## 4.委員長選出

- ・品田委員を委員長に選出
- ・委員長より、松下委員を副委員長に指名
- ・傍聴者 9 名（傍聴希望は事前にとっている）

## 5.委員会の運営について

- ・事務局より委員会の公開などについて説明
  - 資料 2-5 「委員会の運営についての基本的考え方（案）」

## 6.委員会設置の目的、検討内容について

- ・事務局より下記の資料について説明
  - 資料 3 「日本銀行石神井運動場の公園整備にかかる基本計画検討委員会の設置について」
  - 資料 5-4 「検討委員会の運営提案」
  - 資料 5-1 「取得の経緯」
  - 資料 5-2 「整備にあたっての留意点」
  - 資料 5-3 「整備の方向性」

## 7.事業の概要および現況等について

### 委託事業者より下記の資料について説明

- ・資料 5-6 「航空写真（案内図）」
- ・資料 5-7 「航空写真（石神井公園周辺）」
- ・資料 5-8 「現況図」及び「現況写真」
- ・資料 5-9 「現況及び法的規制」

- ・資料 5-10 「検討課題」
- ・資料 5-11 「体育館をなくした場合の現況イメージ図」

## 8. 討議

委員長	<p>検討課題については、まさにここで検討することですが、その前に前提条件となることがいくつかある。基本的な考え方・方向性といったところは前提条件として考え、その上で具体的にどうするか検討してほしい。今後、全体で3回ないしは4回ぐらいの委員会であるので、今日の意見を踏まえ、次回、もう少し具体的にします。今日、現地を見て、あるいは説明を受けた中での意見、感想でもよいので発言を。</p>
副委員長	<p>昭和31年にこの施設を拝見した時、練馬区の中では抜群の用地だということと、いつかは練馬区で使えるような機会があればと思っていた。クレーテニスコートも大学生と4人程で使い、クラブハウスも日銀の方と一緒に使った。非常に良好な環境をどう私たちはつくってイけるか、どういうところを利用してイけるかを考えている。クラブハウスについては、改修すれば使えるという事だが、やはり体育館の跡地利用の問題、みどりの保全と調和をとりながら屋外の運動施設を有効に活かしていく方針は望ましい。もう一つは石神井公園全体とのバランスという点で、遺跡の関係もいろいろある。両方とも非常に大きな事なので、この石神井公園構想の中の位置付けでどう活用するかやっていきたい。</p>
C委員	<p>基本的に練馬区はすばらしい場所を手に入れたいと思っている。今、説明を聞き、また現地を見学して、確認したい点が2つほどある。一つは、大きく言えばこの公園計画の前提となる三宝寺池への集水涵養機能を果たすこと、三宝寺池に流れて行く集水の範囲をまず確認したい。今回の計画地の中では、大きく言って東南方向に勾配がついているが、それを明確に確認しておきたい。二点目は、先ほど説明のあった西北部分の都市計画道路についてである。特に地下水について非常に大きなインパクトを与えることが想定される。その構造・開設時期・造成時期について、すでに分かっていたら、前提条件として頭に入れなければならないので教えてほしい。特に市街地を通ってくる道路であれば地下構造とか半地下構造とかいうことを想定できるので、地下水脈への影響がある気がする。その辺の情報を知った上で、どうやったらよいかを考えたい。</p>
委員長	<p>他の委員の皆さんも似たような意見、質問があるかもしれないが、一通り意見を聞いた上で、事務局の方から情報を、わかる範囲で提供して欲しい。</p>
D委員	<p>私が委員に選出されたのは、観光が専門なので、その代表としてである。練馬に関しては、練馬の観光ガイドにも係わっており、「ふるさと文化館」の開設にあたっては、その検討委員を務めてきた。今、説明を受けた中で、一番明らかにしなければならない事は、都立の石神井公園との関係である。「一体となって」という表現を使っている。「一体となって」とはどういうことなのか。連携を図るとあるが、本来、もし可能であれば都立石神井公園として拡大する事だったが、諸般の事情でそれが適わず、その部分は練馬区が主体的</p>

	<p>に、区立公園として取得するという事になった。「一体となって」ということは、当然の事ながら隣接している所であり、その取得した趣旨が貴重な自然の資源を守るという事から言うと全域が実質的に都市公園であると考えるのが妥当だ。その上でこの部分については、特に施設を作ったり、ある程度レクリエーションゾーンとしての機能を持っているという意味での一つのゾーンとして考えるという発想が必要である。観光の拠点としてどういうふうを活かすか。基本的に言えば「一体」としての園路の確保かと思う。多くの人々がどちらにも行けるようにする。基本的に自然の保護、自然資源を守る事と利便性・快適性をどのように調和するかがポイントだと考えている。</p>
委員長	<p>今の「一体化」の話だが、都市公園としての石神井公園地域に入っている。法律的には一体化している。ただ、所有者が区立か都立かという違いである。法的にはそういう事だろう。後ほど事務局の方から話を。</p>
E 委員	<p>練馬区でこのような所を作るというのは、地元の間人として大変ありがたい。みどりを守ることは一般の家では難しい時代なので、このような所が有効に使えるというのは非常にありがたい。委員の中に素晴らしい先生方が沢山いるので、地元の間人としてまたお役に立てればと思っている。非常に楽しみにしている。</p>
F 委員	<p>私どもの町会から言わせてもらえば、地域の中にあるので町会の老人会でグラウンドゴルフをやっている。毎週1回金曜日にここを借りてやっており、皆さんはよろこんでいる。例えばここを取得した時に、谷原にある体育館に申し込みに行かなければならないのは大変である。高齢者を遠い所まで行かせるのは大変である。ここを取得するのであれば、ここで手続きが出来ないかと思う。具体的にはまだ決まっていないのだから、徐々にそういう問題も検討し解決して欲しい。</p>
G 委員	<p>石神井公園の自然を守る会を発足し、約20年です。その立場から、あるいは小さい時からここで遊んでもきたので、こんなに広がった自然の所をなんとかして保ちたいというのが一番の願いだ。「整備の方向性」の中で、いろいろ出ているが、運動場だからといって運動施設だけを重視するのではなく、文化・観光・芸術が楽しめる公園という事を全うしてほしい。自然を保護しながらこの公園を利用できるようにみなさんのお知恵を拝借し、あるいは私も考えていく。具体的には直ぐ出てこないが、先ほどC委員から話があったように、地下水・傾斜の問題・外環の関係がある。外環は最近新聞あたりを見ると中止方向で向かっているようなので水脈の切断というのは一時ストップだろう。以前、終戦後このクラブハウスを進駐軍が使っており、池に垂れ流していた経過もある。水の流し方は本当に注意したほうがよい。「プール・体育館をなくしたイメージ」についてだが、確かにプール・体育館はあつてなきがごとの状態だ。これは撤去した方が得策ではないかと思う。また、その跡地はせっかくの場所で隣には野鳥誘致林もあるので、ここは植林をし</p>

	<p>たほうがよい。具体的になるが、出来れば文化施設の場所としては、今話題になっている外環の角のあたりを利用して、運動場、一部ゲートボール場にもなるであろう。いろいろ計画すると思うが、それらもまた検討するべきだ。取り付け道路の事を心配している。南側区道 1.8mと説明があったが、広げてしまうと今度は三宝寺池と分断してしまう。歩行者優先のような道路となっているはずだから、これは是非、整備だけにして欲しい。正面道路の写真が載っていて、非常に入り易いようだが、一方、西側区道は一方通行の出口になっている、公園は夜間閉鎖をできるようにしないと、これだけの広さを持っているので、防犯上も非常に危険だろう。駐車場も考えているようだが、駐車場については、現在ある駐車場をあまり広げないで欲しい。排気ガス等の問題があるからだ。もし外環ができて下をくぐるのであればよいが、それも今、未知数だ。野鳥誘致林の西側の所、一方通行の所を交互にできれば多少違うのではないか。ただし野鳥誘致林の近所にお住まいの方々の理解は必要である。池を挟んで近いようだが、大回りをしなければならないので案外不便だ。ヘリポートの話が先ほど出たが、住友のグラウンドの跡が緊急時のヘリポートになると東京都から説明を受けた。現在は、草っばらである。東京都も予算の関係でそうなのだと思うが、杉並のプリンスの跡地のような雰囲気が良い。まわりを囲ってあり、車が入らない良い環境である。やはり太陽の下の草っばらで遊びたい子供たちのためにも、原っぱにしておいた方がよい。いろいろな検討の中で、希望・要望が出てくると思うが、とにかくみどりを確保してほしいのが第一の要望だ。</p>
H委員	<p>商店街とすると、このように広い土地が練馬区のものになって、より大勢の人たちに来てもらえるように、商店街を通してここまで来られるような施設としてほしい。また、これから、老人ホームを作ってくれたとか、いろいろな要望が出てくると思う。しかし、整備の方向性として三つの柱のもとに進めるという頑固たる決意が、まず必要だ。地下水の涵養とか、スポーツ活動のできる公園、まったくその通りだと思う。ただ、私がどうかと思ったのは、「文化芸術・観光が楽しめる公園」という事だ。これはふるさと文化館が出来るわけだから、の兼ね合いもあるので、ここまでやる必要があるのかと思う。それと、もう一つは、三宝寺側にも入口をつくるという話も聞いたが、せっかく石神井公園に来る多くの皆さんが、三宝寺池から気軽に入って来られて何か楽しめるような施設が出来たらいいのではないかと。スポーツをしに来る人だけの公園ではなく、広く石神井公園を訪れる人たちが行って良かったと思える施設ができたらい。その中でふと思ったのが、コンクリートの建物を作ってという事はまずいので、小鳥の楽園みたいな名称をつけ、大きなケージに、野鳥・小鳥を放し飼いにし、公園を訪れた子供さんたちに喜んでもらう施設をつくることだ。もちろん屋根は無くてもいいわけだから、地下水の涵養にもなる。その他は、整備の方向性通りで全く結構だ。</p>

I 委員	<p>テニスコート・野球場・運動広場をぜひこの状態で整備して使わせてほしい。現在、練馬区に所属している少年野球チームは 100 以上ある。サッカーも所属チームが 75 チームある。その割には、サッカー・野球をする場所が少なく、抽選で順番に行っている状態である。また先ほど話があったグラウンドゴルフ・ゲートボール等、この野球場を多目的運動場のような形で、皆さんで使える状態にできるのでは。現在、練馬駅のそばにある総合運動場も少年野球場をそのような形で使っているので、ぜひ地域の方も、また練馬区内の子どもたちもみどりの中でスポーツができるようにしてほしい。</p>
J 委員	<p>元気な高齢者の集まりに近いレクリエーション協会です。ターゲットゴルフを今日もお昼から 4 時までやっていた。平均年齢 72 歳、構成人数がだいたい 80 名である。体育館を含めて運動施設は比較的 23 区の中で恵まれていると思うが、ただアウトドアで高齢者が元気に遊べる所が残念ながら少ない。サッカー・ラグビー・野球だとか、チャンピオンスポーツに繋がるようなものには、それぞれ専用で使用出来るような場所があるが、元気で体を持て余している我々高齢者クラスが外に出て遊べるような運動広場が残念ながら本当に少ない。そういう点でぜひともこの場所を使わせてほしい。少年野球を専用で残してもいいと思うが、350mのトラックのある方は、子供も高齢者も来たら、直ぐに楽しめるような、グラウンドゴルフ・ターゲットゴルフ・フライングディスクを常設して、子供も大人も遊べるような施設づくりをしてください。80 才、90 才まで遊べると思うので、是非ご協力してほしい。</p>
委員長	<p>一通り各委員の話を聞いたが、東京都計画課長代理の方から、今の話を聞いた上で何らかの情報提供とか、あるいは都としての意見とか、都との一体化の問題等について話をしてください。</p>
K 委員	<p>皆さんの意見を聞いて、やはり整備の方向性は、運動施設の再整備、継続・充実、文化観光施設としてとなっている。地域の状況、例えば人口の動態だとか、年齢層の変化だとか、今、元気な高齢者が増えているとか、沢山子供のスポーツクラブがあるという話だったので、非常に幅広い年齢層で使われる事が想定される。そのような情報を整理した上で提示した方がいい。いろいろな方が運動を楽しめる施設という事であれば多目的な利用に供せる施設が一番。そういう面でテニスコートというのが、どのくらいの需要があって、この面数が必要だということを整理するべき。今日、駅からずっと歩いてきて園内を一周回って来たが、地形上かなり段差があって池の方からあがってくる園路は限りがある。園路を増やすという事はなかなか難しい。石神井公園との一体性については、今の園路にぶつけて連携をどうするのかという方向で整理すべき。その時に先ほど話題に上がったが、廻りの柵をどうするのかというのは非常に大きな問題で、完全に外して開放型、どこからでも入れられるような施設にするのか検討するべきである。現在、都立公園との境の道も雨が降って傘を差して歩くと、すれ違う際に、自転車に来る人が傘を閉じな</p>

	いと危ない。都立公園とは性格が違う施設になると思うが、大きく空から見て石神井公園のみどりがこちらに広がっていて、まさに一体的な公園として活用していく形で計画をたてるべきだ。
委員長	今までのところ、あまり意見の対立はないようだ。今までの意見を聞いた上で、感想あるいは情報の提供など先ほど質問に対してなにかあるか。
L 委員	公園に対する皆さんの様々な強い思いが伝わってきた。皆さんの思いが反映されるような、地域に根ざした公園にしたいので、協力してほしい。
委員長	事務局からなにかあるか。
事務局	現在は、まだここを買っていないので、ボーリング調査等していないが、考え方としては、この土地全体が三宝寺池の上側にあり、間違いなくここから水が地下へしみていると捉えている。ここの自然を守ることが、練馬区が今回用地を買う第一の主旨だ。この土地を残していくことが、下の三宝寺池と一体となった水源の涵養につながると考える。次に外かく環状道路についてだが、今、資料を持ち合わせていないので、国等が出している資料で委員に提供できるものを次回までに用意する。
事務局	都立公園との連携・一体性の問題については、今後 2 回目以降出す案の中で、もう少し具体的なものを用意する。 運営管理の問題は、主要な施設等がもう少し整理できた段階で、意見をききたい。夜間閉鎖の問題等も運営管理の問題になる。防犯対策もそうだが、皆さんの意見を聞きながら、どんな施設を、どんな形で開放するか検討したい。次回以降、皆さんの意見を踏まえて整理していく。
H 委員	図書館の下に郷土資料館があり、地下で職員がホタルを飼育していた。せっかくこのような広大な土地が手に入るし、体育館・プールが無くなる訳なので、是非そういう場所を活用してホタルの飼育場みたいなものを作ってほしい。石神井公園に来る皆さんにも喜んでもらえる。
委員長	私も同じような事を考えていた。
G 委員	区職員が確かにホタルを飼育していた。カワニナがいないと池にホタルは絶対無理である。それには水を出す必要がある。水はきれいでないといけない。流れでなくてはならない。そういう制約がある。私も家の前に石神井川の壘橋があり、そこは大変ホタルが多かった。区の職員から大変な労力と聞きいていたので私は諦めていた。この中でそのようなことが可能だろうか。よほど研究しないと難しいと思う。
委員長	ホタルの事については、ある程度の水源、例えば地下水をくみ上げて、三宝寺池に流せないかと、かねがね考えている。ある程度の水さえあればカワニナもゲンジボタルも可能だ。ゲンジボタルが難しければヘイケボタルか。これはトライしてみたい。是非とも実現したいと思う。 役職としての意見ではなく、皆さんの意見を聞いて「これはちょっと無理だ」というか、「方向性として難しい」とかあるかもしれないので、区の課長から

	何か発言してほしい。
生涯学習課長	<p>職員が行っていたものとは別に業者をお願いしてホテルの飼育を実施していた。ただ、先ほどのような話でカワニナの方が難しく、入手が困難というようなこともあり、なかなか続かなかつたと報告を聞いている。石神井公園ふるさと文化館の一角にもホテルのためのスペースを確保しているが、実際の取り組み方法などについては今後の検討課題としている。</p> <p>石神井公園ふるさと文化館と、こちらの施設を使っての芸術関連事業との関わりについては散歩コースの一つとすることなどが考えられるが、どのような連携をしていくのか、どういう風に整備していくのかなど、今後検討が大いに必要であると考えている。</p>
文化国際課長	<p>方向性の中の「文化芸術資産公開」という事で、区では芥川賞作家である五味康祐さんの遺品 16,000 点の無償譲渡を受け、現在各所に分散して保存している所である。その中の貴重な遺品として、オーディオ機器をいただいているが、こちらを活用したレコードコンサートを年に何回か開催している。こちらは場所を練馬庁舎の会議室の一画において会議等の無い時に開催しているところだが、それ以外に原稿類であるとか、レコード類であるとか大変多くの文化的価値のある品物をいただいている。将来的な公開・保管場所を考えて行かなくてはいけない中で、今回このクラブハウスを改修することにあたって、五味氏をはじめとする区にゆかりのある文学者・文化人・芸術家の皆さんから区にいただいているものなどを区民の方々に見ていただく場所の候補地として入れていただいた。具体的に今お示すところまではいたってはいないが、まず一つにはオーディオ機器をもう少し、広く区民のみなさんにお伝えしたいという気持ちもあり、こちらをお願いしたいと思っている所である。クラブハウスは大変立派な所なので、自然と一体となった所で区の文化芸術資産の一つの公開の場所として活用できればと思っているので意見をいただきたい。</p>
施設管理課長	<p>石神井地区にとって、文化施設、文化的な試みとしては大きなプロジェクトが立ち上がり、先ほどから期待されている皆さんの言葉を聞いて、出来ないと言っては行けないと、全てを実現するつもりで、なんとか進めていけたらと思っている。</p>
スポーツ振興課長	<p>先ほど説明があったが、昭和 50 年 9 月からテニスコート、現在 7 面あるが、当時 2 面、それから少年野球場を日本銀行から貸してもらい、区民の方々に開放して使っていただいている。平成 18 年の 6 月からはグラウンドゴルフの利用でもお借りしている。いずれも週 4 日間借りていた。今年度になってテニスコートは 7 面使わせていただいている。利用日については、土曜日を除く毎日お借りしている。そういった中で、テニス、ソフトボール、少年野球、少年サッカー、少年ラグビー、グラウンドゴルフ等の皆さんにご利用いただいている。私どもとしては、昭和 50 年から利用させていただいている</p>

	<p>スポーツ施設を今後も区民の皆さんに使っていただきたいと考えている。</p> <p>先ほど委員の方の中から、テニスコートの利用状況についての話があったので、現状を言うと、今年4月から9月の統計になるが、利用率については、平日87%、土日99%で高い利用率になっており、月によっては100%。ほぼ埋まっていると言う状況である。区には他に20面のテニスコートがあるが、70万区民からすると非常に少ないテニスコートの面数で、ここも非常に皆さん期待している所でもあるので、少なくとも現状を維持して使っていただきたいと思っている。</p>
H委員	<p>これだけの施設を開放するのであれば、休憩場、あるいはお茶が飲めるところがあるのではないかと。昔、日銀で職員の運動会があった。今、石神井で「照姫まつり」をやっている。荻窪間等のバスを全てストップして池の東側の所にターミナルをつくってそこから乗り降りをするような大混雑をする時期もある。以前は三宝寺池の南の方に茶屋があった。高齢者が来るのであれば、それなりの休憩が出来る腰かけがあるような施設を考えた方が、客層もまた違って来る。その利用を兼ねて計画を立ててほしい。</p>
委員長	<p>この中にも立派な厨房があるし、それから大広場もあった。そういうこともいろいろ利用できるのではないかと。</p> <p>一通り皆さんの意見を聞いたが、一番に取りかかるプランは、みどりの関係だ。そこでもう一度感想をどうぞ。</p>
C委員	<p>先ほどの質問にも関連するが、この計画の中の水源涵養だが、これは情報として提供してほしい重要なポイントだ。今、樹木の下は、わりと裸地が樹林の中で多いように見受けられた。表面排水があると、三宝寺池の方におそらく土砂が流れているのではないかと。その辺の三宝寺池における土砂の堆積状況。これはおそらくこれだけの地域なので、情報を持っている方もいるだろう。その辺の所をしっかりと押えておくと、下層の植栽などをどうしたらよいかというのが検討できる。更にはグラウンド部分も考えなければならないことがある。</p> <p>もう一つ、先ほどびっくりしたのはこれだけのクヌギやあれだけの大木がこの練馬の町中にあるというのは大変な財産だ。ヒマラヤシーダとかその他の樹木の大きさも十分価値のあるものだ。この地域にクヌギだとかコナラだとかがあるだけの大きさであるというのは非常に大きな宝なので、有効に維持して保全して、出来れば里山のような景観なり環境が復元できれば素晴らしい。</p>
D委員	<p>事務局の方に一言。今日の資料の一部に飛躍があるように思う。説明資料で、クラブハウスを無くした後に文化芸術に資する施設の転用を図るとするのは結構だが、パワーポイントを用いての説明では、より具体的に踏み込んで練馬区にゆかりのある文化人の展示とある。これは明示したものなのかより一歩進んだ案なのかよくわからないが、これは少し逸脱だと思う。来年3月才</p>

	<p>ーブンする「石神井公園ふるさと文化館」に持っている機能に近いので、その中で展示、特別展示、あるいは一部常設展示となっているブースもある。クラブハウスを直した時にどうするかということは、「石神井公園ふるさと文化館」について知らない委員もいるので、ここで討議するのは不適當と思い、あえて言わなかった。事務局で調整しておいてくれないと具合が悪いので、次回までに事務局に調整してほしい。突然具体案を出し、既成事実化するというのは好ましくない。</p>
--	--